

トウモロコシの活性炭

アスパラ事例

発根促進にトリコエースBを使用することで大きな成果が得られました!



上の写真は活性炭を入れて改植した事例ですが、ナスで余ったトリコエースBを右の畝に散布したところ生育が大きく異なる結果となりました。この結果を踏まえ、今回全体にBを散布することになりました。こちらの方は5年以上活性炭を採用されてます、地域でも単位当たりの生産量はトップクラスです。Bはナスのなり疲れ対策に使っていました。



小売業と日本の農業を支援しています

株式会社 **アーフネット**

専用サイトはこちら



育苗段階で大きな違いが出ました

青森県七戸町の農家アスパラガス栽培をしている農家様が、今回新しい圃場に活性炭を定植する上で苗作りの段階でパウダータイプを使って比較する事が出来ました。

下の写真がその比較事例です。左側は培養土のみで、右側に活性炭のパウダータイプを混入しています。明らかに差が出ていることがお分かり頂けると思います。

実際の定植では圃場には通常タイプの活性炭を入れます。



アスパラの事例ではセルで発芽させ、ポットへ移植する際に根に傷がつくことがあり、最初からポットでの育苗が栽培から定植までの工数削減にもなるようです。

アスパラのいや地対策で活性炭を使い障害解消しました。岩手県一関市、花泉の事例



当初は「いや地」問題の対策として活性炭を入れたのですが、雑草に負けていたので、一旦全部根元から刈って、なす用に残っていたトリコエースBの余りを右側の数列の根元に投入したそうです。

その後の結果が右上の写真で予想通り、根の発根促進効果で背丈が1.2メートルにもなっています。10月19日（Bタイプは水に溶いて使用、下がその事例です。）



2013/11 12年経過したハウスにパウダータイプとトリコエースBを投入した事例

2015/05撮影、太いアスパラになっています。

普通なら改植するのですが、栽培期間がもったいないというので、ダメもと(延命工作)で投入したところ、曲がりやが少なくなったことと、収量が向上したという評価でした。掘り返しができないのでパウダータイプを上から散布することになりました。

こういう手法はリンドウやユリなどの多年生の作物に応用可能と思われます。

パウダータイプは無調整の為pH値は9.5レベルですが、それが障害になったという事例は出ていません。培土に使う他の資材との組合せでpH値が変わることになります。
使用の目安
培土に対する比率は15%から20%を目安としています。



トリコエースBは発根促進機能があります。果菜類のなり疲れ対策に栽培途中での投入でも有効です。

| 活性炭タイプ | 容量 | 価格 | 事例 |
|---------|----------|-------|-----------------------|
| 標準タイプ | 30リットル入り | 3,000 | トマト、いちご、そらまめ、稲 |
| パウダータイプ | 10キロ詰め | 5,000 | アスパラ、トマト、ねぎ、花(ストック)、稲 |

培土への配合は15%から20%ですが、パウダータイプは粒子が細かい為10%が目安です。



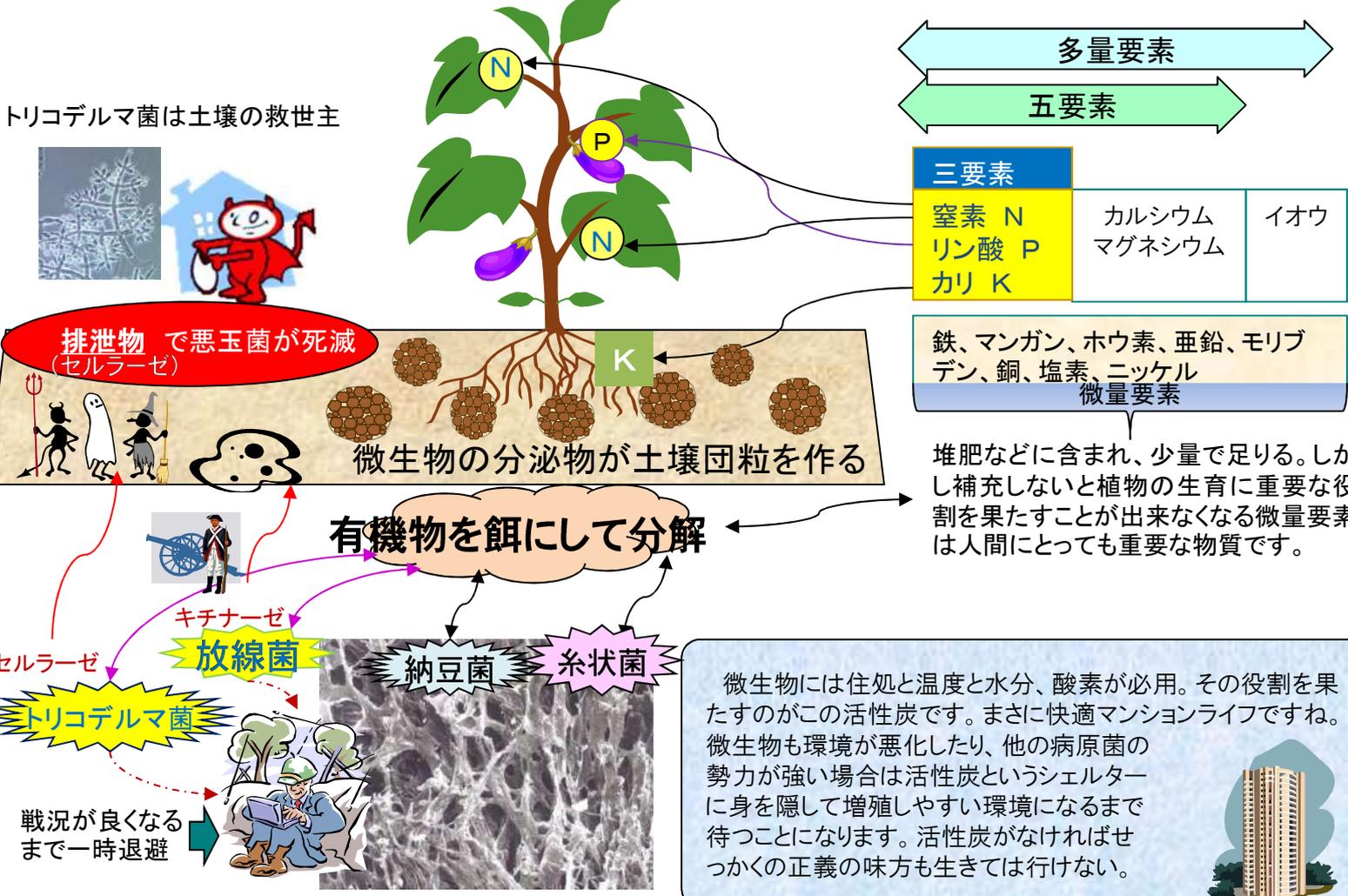
**2016年 岩手県奥州市、金ヶ崎町での改植事例です
前年まで植えていたアスパラを撤去して改植したものです。**



2016年 9月 8日 欠株は確認できませんでした

トウモロコシの活性炭と微生物の共生のメカニズムと製品情報

いくら良質の堆肥を投入しても堆肥を分解する有用微生物がいなければ有機栽培も成り立ちません。特にトリコデルマ菌と放線菌は炭素源を分解するセルラーゼやキチナーゼを産生するので、肝心の有用微生物まで死滅させる土壌消毒は可能な限り回避したいところです。



| | 1反 | 1町 | 1a(アール) | 1ha(ヘクタール) |
|----------------|-------|--------|---------|------------|
| m ² | 1,000 | 10,000 | 100 | 10,000 |
| 坪 | 303 | 3,030 | 30.3 | 3,030 |

トウモロコシの活性炭

30リットル入り 税抜き 3,000円

活性炭の必要量は一坪に1リットル、100円弱です。



トウモロコシの活性炭



トリコエースA



トリコエースB

トリコエースの使い方

トリコエースは活性炭に混入して土壌にすき込むのがベストです。(また夏場の二作目は多めにすることで効果が期待できます。)

症状によって多めに入れるか、強力な微生物資材の採用を推奨します。特に夏場は悪性の微生物が増えていますので1.5倍くらいの投入が望まれます。

投入量は1反に1~2キロが目安です。

●一本の苗で長期間栽培する作物によっては、栽培途中でトリコエースBを灌水チューブで投入することで新しい根の発根促進になります。果菜類での効果検証があります。

トリコエースA、Bとも

500g 入り税抜き **5,000円** 要冷蔵

姉妹品のトリコエースBは根の生育促進の効果があります。鹿角や宮城の中田地区のきゅうり栽培でAとBの組み合わせで大きな効果が検証されています。

輸入販売元 **株式会社 アークネット**
 〒020-0021 岩手県盛岡市中央通1丁目6-30
 TEL 019-651-0411 FAX 019-651-0439
 URL <http://www.arknetjapan.co.jp>
 ホームページで活用事例などを紹介しています。

製品のお求めはお近くのJA様、又は取り扱い会社をご利用いただけます。
 インターネットからの御注文も受け付けております。
 オンラインショップサイト **アーク農園**
<https://www.arknouen.jp>